

公の施設目標管理シート（直営）

問合せ先 025-373-6600

年度	平成30年度		
施設名	重要文化財旧笹川邸住宅	所管部・課	南区役所地域総務課
施設の設置目的	旧笹川家住宅を活用し、味方地区の歴史資料、民俗資料、その他の資料を保存し、及び公開することにより、市民の歴史及び文化に対する認識を深めるとともに、市民文化の向上に努めます。		

当初予算(千円)		当初人員(人)		作成日	平成30年6月23日
歳入	2,427	正職員	1	修正日	
歳出	9,103	非常勤		評価日	令和元年7月10日

No.	視点	目標	評価指標					参考・補足	主な事業等	目標達成状況 未達成理由	評価	
			項目	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標					H30結果
1	市民	ボランティアガイドの情報交換の徹底	月1回の情報交換会を行い笹川邸に関する新しい情報の発掘に努める。	10回	10回	10回	10回	10回	ガイド業務中に新しい発見や、情報を得ることがあるので、その知識の共有を行う。	情報交換会議を目標どおり実施し、目標を達成できました。	B:達成	
2	市民	入館記念として、笹川邸のマススコットグッズ”ささたん”（笹団子のミニチュア）を作成し、入館者に贈呈する。	入館者に記念品として”ささたん”を1人1個配布する。	約6,500人に配布	約5,500人に配布	約5,050人に配布	約6,000人に配布	6,470人に配布	記念品の”ささたん”を媒体に笹川邸のPRを進め、入館者の拡大も図る。	入館者が前年度より1,420人増加したため、目標を達成できました。	B:達成	
3	財務	歳入の増加	年間使用料収入2,400千円以上	2,516,800円	2,527,700円	2,174,100円	2,400,000円	2,207,100円	イベントの実施等により前年度並みの使用料収入を維持する。	区づくり事業「来てきて笹川邸」によるイベント実施や南区PR大使を活用した広域的なPRの実施	観覧者が前年度より1,420人増加しましたが、無料入館日の観覧者が大幅に増っており、目標達成には至りませんでした。	C:未達成
4	業務	防火訓練の実施	国の重要文化財である「笹川邸」の防火対策を強化する。	年1回	年3回	年2回	年2回	年2回	文化財防火デーに伴う消防訓練と併せて初期消火の訓練を行い、初動体制のさらなる強化に努める。	文化財防火デー消防訓練 南消防署の立入検査時の訓練	9月と1月に予定どおり実施し、目標達成できました。	B:達成
5	人材	情報の共有化と人材育成	地域総務課との打合せ会議、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など年3回以上実施。	—	年11回	年8回	年8回	年8回	臨時職員にもコンプライアンス等の研修を実施するとともに、所管課である南区地域総務課と情報交換会議を行う。	情報交換会議、コンプライアンス研修、情報セキュリティ研修など	研修や情報交換会議などを実施し、目標回数を達成できました。	B:達成
6												
7												
8												
9												

取り組みについて(目標設定の考え方など)	総合評価 (評価を踏まえた課題分析・方向性など)
<p>当施設は、新潟市が所有する唯一の国指定重要文化財であり、7年の歳月をかけて文政9(1825)年に再建されたもので、敷地面積が14,252.24㎡、すべての施設の延べ床面積が1,869.57㎡もある大庄屋の役宅兼住居であり、その取扱いには細心の注意が必要な施設として、今後も維持管理を行い、江戸時代の建築物を大勢の人から見てもらう目標で設定しています。</p>	<p>笹川邸の入館者は前年と比して1,420人の増となりました。主な要因としては、誘客促進につながる効果的なイベント事業の実施により増加につながりました。今後とも関係機関や地元コミ協なども連携し、誘客に結び付く効果的な事業を行っていきます。また、独自でのアンケート調査を継続して行い、そこで得られた貴重な意見も参考にしながら、入館者の増加になるよう取り組みます。今後は、ボランティアガイド全体のスキルアップに努め、来館者からより喜んでもらえる体制づくりについても、ボランティアの皆さんと進めていきます。</p> <p>国指定重要文化財の建造物としては唯一、市の所有でもある旧笹川家住宅の価値をPRするとともに、火災による消失が発生しないよう職員一丸となって文化財保護に取り組んでいきます。</p>